

講演会のご案内

若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様を講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。
一般の方もご参加いただけます。

2023年

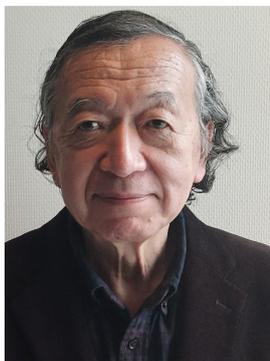
4月18日(火) 18:00～

富山県美術館前館長

雪山行二 氏

『富山県立近代美術館はどのようにして秀逸なコレクションを作ったのか』

富山県美術館は、地方の公立美術館としては極めて特色のある首尾一貫したコレクションを誇っている。そこでは、ピカソに始まり、ルオー、シャガール、ミロ、デルヴォー、ポロック、ベーコンらの秀作によって20世紀の欧米美術の流れを概観することができる。戦後の日本の前衛美術についても多くの秀作を所蔵し、また、いち早くデザインの重要性に着目し、1960年代以降のポスターと20世紀の椅子については、わが国でも屈指のコレクションを有している。一般に、公立美術館が明確な方針の下にコレクションを形成していくのは容易ではない。しかし、富山のような地方の一都市でそれが可能になったその影には、戦後の前衛芸術運動の理論的指導者であった富山出身の詩人で評論家の瀧口修造(1903-1979)の存在がある。富山県美術館の前身となる県立美術館の設立に向けて県知事から助言を求められた瀧口は、「近代美術」に特化した美術館の必要性を強く主張し、その基本的コンセプトを提示した。ここから生まれたのが県立近代美術館である。瀧口は1981年7月の開館を見ることなく没したが、その理念は、顧問となった美術評論家の東野芳明と詩人の大岡信、さらに館長の小川正隆によって受け継がれた。今回の講演では「富山県立近代美術館はどのようにして秀逸なコレクションを作ったのか」。この点を中心に語って頂く。



雪山行二
(ゆきやまこうじ)

【略歴】

- 1947年2月 富山県黒部市宇奈月町生まれ
- 1976年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了
- 1976年4月 国立西洋美術館研究員
同館学芸課長を経て、1998年10月より愛知県美術館副館長
横浜美術館館長
- 2002年4月 和歌山県立近代美術館館長
- 2009年4月 富山県立近代美術館(現在の富山県美術館)館長に就任
- 2012年4月 同館退職

申込方法

メール info@ja2pa.or.jp
電話 03-3569-1250
(電話受付時間 平日10:00～18:00)
※各DMでも承ります!

聴講料

500円(要申込)

会場

シンワアートミュージアム
(東京都中央区銀座7-4-12
銀座メディカルビルB1F)

【担当した主な展覧会】

- 『エル・グレコ展』(1986年)
- 『リアリズムの美 スペイン静物画の世界』(1992年)
- 『ゴヤ 版画にみる時代と独創』(1999年)
- 『ロマンの系譜 怪奇幻想玉手箱 ゴヤからシュルレアリスムへ』(2013年)など

【著書】

- 『ゴヤ ロス・カブリチョス—寓意に満ちた幻想版画の世界』(2001年)など



一般
社団
法人

日本アート評価保存協会



〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12 銀座メディカルビル5F
TEL: 03-3569-1250 FAX: 03-3569-1251 info@ja2pa.or.jp